

2003 年 8 月 27 日

Web ユーザビリティを評価するツールを開発 ユーザの声に基づく使いやすさの評価を低コストで実現

日立製作所（執行役社長：庄山 悦彦）は、このたび、低コストで容易に Web のユーザビリティ（使いやすさ）上の問題点を把握できる評価ツールを開発しました。

今回開発したツールは、バーチャルキャラクターが、Web ページの使いやすさに関するユーザの声を集める役割を担い、ユーザの発言の促進を図ったり、ユーザの行動に即した質問をタイミングよく提示することによって、より有効なユーザの反応やコメントを収集することが可能になります。また、アクセスログのデータを同時に収集しており、定量的な分析も行えます。

本ツールは、プロキシサーバ内に組み込むことを想定しており、評価対象サイトの改変は不要です。また、ユーザビリティの専門テスターが不要であることから、従来に比べ、低コストで、容易にユーザビリティ評価を行うことができます。

当社では、本ツールを適用することによって、Web サイト構築時にユーザビリティ評価改善プロセスを導入することが容易になり、情報システムの機能の多様化、高度化にともない、今後ますます重要となる Web のユーザビリティの向上に役立つと期待しています。

なお、本ツールは、2003 年 8 月 28 日～30 日に東京ビッグサイトにて行われるグッドデザイン・プレゼンテーション 2003 にて展示される予定です。

■開発した評価ツールの特徴

- (1) Web サイトの開発者自身によるユーザビリティ調査が実施可能(ユーザビリティの専門テスター不要)
- (2) 評価ツールをプロキシサーバ内に組み込むため、評価対象サイトの改変は不要
- (3) 聞き役を果たすキャラクターの存在がユーザの発言を促進
- (4) ユーザの行動に即した質問を提示することにより、有用な反応、コメントを収集可能
 - (i) リアルタイムにユーザの行動をモニタリングすることにより、適切な質問や教示を提示可能
 - (ii) ユーザの行動に即した質問・教示文とその提示タイミングを予め定義可能
- (5) 「いらいらする」「困っている」など、より直感的な反応を収集
- (6) アクセスログのデータを同時に収集しており、定量的な分析も可能



評価メイン画面

タイトルウィンドウ(右上) 入力ウィンドウ(左)
評価対象サイト表示ウィンドウ(右下)の3つで
構成。



質問表示画面

感情ボタン押下時など必要に応じてポップアップ
ウィンドウを表示。

■ 本件に関する照会先

株式会社日立製作所 システム開発研究所 企画室 [担当：鈴木]

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 1099 番地

電話 (044) 959-0325 (ダイヤルイン)

以上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
